

Introduction

～ まちの人紹介 ～



雄武小学校教諭

なんば ふみな
難波 史菜さん



「児童が安心して過ごせる環境の中で、しっかり学習をしながら楽しい思い出を作れるよう心がけています」と話すのは、旭川市の教育大学を卒業後、今年4月から雄武小学校に赴任した名寄市出身の難波さん。

雄武町を選んだ理由については「父の出身地であり、水産物が豊富である点に魅力的だと感じたからです」と答えてくれました。

教諭を志したきっかけについては「もともと英語が好きで、英語の教員を目指したことがきっかけです。小学校と中学校での教育実習を通して児童と関わる中で、小学校教諭を希望するようになりました」と教えてくれました。

現在は特別支援学級の担任を務めており「児童一人ひとりに応じて支援を行っています。児童が学習内容を理解して喜んだり、達成感を味わっている姿を見るとやりがいを感じます」と笑顔で話してくれました。

今後の目標について「責任感を持って職務を果たせる教諭を目指し、見識を広げるため、通常学級の担任も経験してみたいです」と話し、意欲をのぞかせていました。

休日の過ごし方について聞いてみると、「趣味でよく絵を描いています。最近、児童の好きなキャラクターなどを描いてプレゼントすることもあります」と児童を思う気持ちが伝わってきました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいのある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼日が短くなり、風の冷たさに本格的な秋の訪れを感じますね。秋といえば「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」などといわれますが、皆さんはどのような秋を思い浮かべますか。私は断然「食欲の秋」です。過ごしやすい気候になると、つい食欲が増えてしまい、冬眠前の動物のようにご飯を食べ過ぎてしまいます。この時期に体重が増えるのは、きっと私だけではないと信じています。（舘田）